



(リーディング事業の取組)

◆中和圏域参画法人打合せ会議を開催（まほろばレスキュー事業）

5月18日（金）、奈良県社会福祉総合センターにおいて、中和圏域内の参画法人（出席：7法人11名）による打合せ会議を開催し、まほろばレスキュー事業の具体的な流れの確認や関係機関等への周知方法等について話し合いました。会議には、同圏域内にある市社会福祉協議会（出席：4社協5名）にも参加いただき、まほろばレスキュー事業の仕組みの共有や連携方法について意見が交わされました。社協からは、相談事業や小地域福祉活動等を通じて把握している、地域の中で対象となり得る方の生活状況等の情報提供があり、会議の中では、中和圏域での本格実施に向けて、対象となり得る方の生活状況を踏まえた、相談支援機関への周知や社会福祉法人側の関わり方等、整理すべき課題があり、また、他の圏域での取り組み状況も参考にしたい等の意見があったことを踏まえ、後日、改めて打合せ会議を開催することになりました。



奈良市では、5月1日に奈良市民生児童委員協議会連合会の幹事会で、同月8日に同会長会において、まほろばレスキュー事業の説明が行われました。今後は必要に応じてブロック単位、もしくは地区単位の民生児童委員協議会で個別に説明していく予定です。

◆「たかとりふれあい食堂」開催（地域食堂事業）

5月15日（火）のふれあい食堂（於：市尾公民館）は高齢者の方を中心に22名の参加がありました。メニューは、山菜の天ぷらと炊き込みご



飯。「ふれあい食堂のために」と、町民の方が地元の山で採ったウド、タラ、イタドリ、桑の葉など、揚げたての山菜が提供されました。中でも人気だったのが葱坊主の天ぷら。「へえ〜」と、物珍しそうに食べた感想は「おいしい」「旨い」の声でした。後半は、「元気な一步会」（介護予防サークル）による一步会体操をみなさんと初体験。協力いただいた理学療法士の指導のもと、リズムに合わせて楽しそうに体を動かしておられました。今回で9回目のふれあい食堂。回数を重ねるごとに“食堂でのひととき”を楽しんでおられる様子が



増え、3法人と地域との距離がとて近くなったように感じています。次回は6月19日（火）、メニューは押し寿司とお吸い物です。



（まほろば幸いネット会員加入状況【H30.5月31日現在】）

認証法人：90法人（施設法人69、社協21）